

中 央 小 学 校

創 立 昭和 55 年

校長 加納 裕子

所在地 幸田町大字横落字北門1番地

電話 62-8050 Fax 62-8116

校地面積 21,096 m²(施設台帳より引用)

E-mail chuoos@town.kota.aichi.jp

校訓

校 章

な か よ く

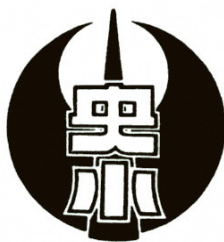
(徳) 力を合わせる子

つ よ く

(体) 体をつくる子

こ ん き よ く

(知) よく考える子



1 教育方針

【3月 全校で歌う会】

(1) 教育目標

校訓「なかよく・つよく・こんきよく」のもと、見えない根っこ（プラスの心）を育てることで、「自分で乗り越える力」や「なんとかしようとする心」を備えた自立した子どもを育てる。

(2) 経営方針

ア 家庭・地域と連携し、お互いに見えない部分やできない部分を助け合い、支え合うことのできるコミュニティ・スクールの基盤をつくる。

イ 子ども一人一人に寄り添った教育活動を推進し、自分で考え動き出すことのできる子どもの育成に努める。

ウ 仲間と共に学び合い深め合うことのできる「楽しい授業」づくり、そして「楽しい学校」づくりに努める。

(3) 本年度の重点努力目標

ア 見えない根っこの部分（プラスの心）を育む。

- ・子ども自身が理解できるように見える化し価値づけることで、子どもの自己肯定感を高める。
- ・家庭、地域、学校で、子どもたちの良さを伸ばしていく。
- ・一人一人の把握とその子に寄り添った指導を心がける。

イ 失敗をおそれず、自分から挑戦をさせる。

- ・「失敗は成長」と捉え、人のせいにならず、失敗から自分を成長させる。

ウ 子どもたちに任せ、やりきらせる。

- ・場を与え、多様な考えをもつ仲間を認め、学び合い、自分たちでやりきらせ、本物の自信をつけさせる。

エ だれにでも優しいユニバーサルデザインを意識する。

- ・だれもが過ごしやすい学習環境づくりや、だれもが学びやすく、力を発揮できる授業づくりに取り組む。

オ 伝統である3つの宝「あいさつ・そうじ・ランニング」を磨き続ける。

- ・「あいさつ」を通して「なかよく」するためのコミュニケーション能力を、「ランニング」を通して「つよく」なるための体力と気力を、「そうじ」を通して「こんきよく」なるための粘り強さを日々の生活の中で鍛える。

カ 働き方改革にかかる業務改善の継続

- ・教育的効果を検証しながら教育活動を見直し、共通理解を図りながら、改善を進める。
- ・地域連携やOJTの活用、働きやすい環境整備など、持続可能である働き方改革を進める。